

大乘小学校統合 準備委員会だより

令和6年1月5日
NO. 1
統合準備委員会事務局

竹原市教育委員会では、児童生徒の教育環境の充実を図り、学習指導要領で求められる教育を実現するために、市立学校の適正規模及び適正配置の具体的なビジョンとして令和4年12月（令和5年6月に一部変更）に「竹原市立学校適正配置計画」（市HPに掲載）を策定しました。

この計画において、現在一部の学年で複式学級となり今後も児童の減少が見込まれている大乘小学校の竹原小学校への令和8年度統合に向けて取り組みを進めることとしています。

竹原市教育委員会では、令和5年4月から7月にかけて、大乘小学校区において学校運営協議会、保護者、地域を対象として説明会を開催し、学校の適正配置計画について説明を行い理解を求めました。

この度、大乘小学校の竹原小学校への統合に向けた統合準備を行うため、保護者、地域、学校、行政で構成される「大乘小学校統合準備委員会」を設置しました。統合準備委員会では、教育内容等について検討し、竹原市教育委員会に報告することになります。

大乘小学校統合準備委員会委員

【PTA】新潟史子、新潟洋治、新谷章文、石井靖明 【学校運営協議会】宮野勝徳、吉本大次郎
【地域】片山和昭、鴨宮康仁 【学校】柏木雅子、吉本康隆 【教育委員会】沖本太
【行政】議題に応じて選出

第1回統合準備委員会

日時：令和5年11月30日（水）18:30～19:10

場所：大乘地域交流センター

（1）委員長、副委員長の選出

委員長：宮野勝徳

副委員長：吉本大次郎

（2）準備委員会について

統合準備委員会

《構成》

| | | | |
|-----------|----|-----------|----------|
| PTA役員代表者 | 4名 | 学校運営協議会委員 | 2名 |
| 地域代表者 | 2名 | 小学校校長 | 2名 |
| 教育委員会教育次長 | 1名 | 行政担当者 | 議題に応じて選出 |

《協議内容》

（1）通学 （2）カリキュラム （3）学校運営協議会・地域行事
（4）その他



教育カリキュラム部会

学校及び教育委員会の担当で構成
若干名

教育カリキュラム部会については、令和6年度に入り、学校が新体制に移行したのちに各学校から専門部会のメンバーの候補者を挙げ、準備委員会で承認していただきます。

《質疑応答》

(委員) この準備委員会はどの位の回数でいつまで行う予定か。

(市教委) 具体的な回数は決めていないが、統合する令和8年度まで行う予定。通学についてが、皆様一番関心があると思うが、予算が伴うことなので庁内で整理し方向性が出たら提案する。来年度後半には提案したい。

(委員) この統合は決定事項か。決まっているのなら、大乘にいても仕方がないから竹原小へ行くとか、若い人は学校がなくなるならここにいても仕方がないとか言う声が出ている。

(市教委) 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」で教育委員会の職務権限として「学校の設置及び廃止」がある。懇話会の諮問答申を経て、適正配置計画を策定という一連の流れの中で大乘小学校の統合を決定した。この準備委員会は、統合をスムーズに進めるために保護者や地域の皆様の要望を聞くためのものだが、すべての要望にお応えできるか分からない。統合については、「竹原市立学校設置条例」の改正が必要となるので、最終的には議会に提案し議決をいただくことになる。

(委員) 地域としては、まちづくりの観点からも考えないといけない。町を運営する立場でいうと、いろいろな方面に影響があるので、市長とも話がしたいと考えている。

(委員) 今の3年生が6年生になったときに竹原小と統合になる。学校がなくなることが分かっているのに、統合までの2年間に最初から竹原小に入学したいという大乘の子が出てくると思う。そうするとますます子供が減ってしまい、複式学級ばかりになる。今いる大乘の子供が竹原小や、忠海学園に行かせたいということがあった場合、どうやって引き留めればいいのか、保護者の間で悩んでいる。

(市教委) 子供の数が減り、学校運営が脆弱になるのは適切ではないと思っている。ただ、指定学校変更のルールがあるので、その範囲内で判断するしかない。統合を理由にすることはそのルールにはない。

(委員) 統合は決定という認識できている。決定事項の中でどのようにしていいものを作るか考えるために集まっているという認識で良いか。

(市教委) 良い。

(委員) 次回以降通学のことがでると思うが、市教委がたたき台を出していただいて、それに対して、我々が議論していくと考えている。

(市教委) 議論については、何かたたき台がない中で意見をということになっても議論が進まないの、やはり我々がたたき台をつくって、その是非をそれに対して御意見をいただくのが一番効率的で望ましいと思う。

(委員) 竹原小学校としては子供会制度とかいろいろある。今後の大乘の子供の数の見通しはどうか。

(市教委) 転入や転校等がなく、そのままいった場合、来年度41人、令和7年度31人、令和8年度30人。



大乘小学校の統合に関するご意見ご質問がありましたら、下記までお寄せください。

事務局：竹原市教育委員会総務学事課

Tel：22-2329

Fax：22-8460

E-mail：s-gakuji@city.takehara.lg.jp